

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月10日  
東

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所  
 コード番号 7317 URL <https://matsuyard.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤秀隆  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役CFO 経営管理部長 (氏名) 松川浩一 (TEL) 0779-66-2096(代表)  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,881	24.8	438	114.8	504	121.1	355	397.8
2022年3月期第3四半期	3,911	△18.3	204	△64.8	228	△57.4	71	△84.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 876百万円( 212.8%) 2022年3月期第3四半期 280百万円( △29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	67.30	66.83
2022年3月期第3四半期	13.57	13.36

(注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,621	4,091	42.5
2022年3月期	6,889	3,237	47.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 4,091百万円 2022年3月期 3,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	15.2	550	54.9	575	40.7	400	142.0	75.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期3Q	5,278,400株	2022年3月期	5,275,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	178株	2022年3月期	178株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期3Q	5,276,678株	2022年3月期3Q	5,256,525株

(注) 当社は2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、11月以降新型コロナウイルス感染症第8波の勢いが拡大しましたが、これまでのワクチン接種の普及効果もあり経済活動が徐々に正常化への動きがみられました。一方、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー資源や原材料価格の高騰に加え、世界的な金融引き締め等が及ぼす影響も懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、新型コロナウイルスの感染拡大によるロックダウンや半導体不足による減産により血圧計腕帯、エアバッグ、カーシートなどの生産が影響を受けたものの、徐々に生産が回復してきており、主要生産拠点であるベトナム工場を中心にコスト削減にも努めました。また、縫製自動機では、インド向けに大型レーザー裁断機やエアバッグメーカー向けの自動機納入が増えており、売上が堅調に推移しました。

また、リハビリロボット関連では民間のリハビリセンターにおいてEMG（表面筋電図）を利用した脳梗塞リハビリ用ロボットを用いてリハビリテーションの生産性向上の実証実験を行うとともに、10月には幕張メッセにおいて開催された医療介護の展示会に当該ロボットを出展するなど営業活動に注力しております。

そのほか、当社グループの子会社であるMatsuya R&D(Vietnam) co., Ltd.において、10月にホーナイ工業団地に41,634.8㎡の工業用地を正式に取得し、新工場の建設が開始されました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,881,862千円（前年同期比24.8%増）、営業利益438,551千円（前年同期比114.8%増）となりました。また、営業外収益では為替差益を83,908千円計上したことにより、経常利益504,743千円（前年同期比121.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は355,106千円（前年同期比397.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における各セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (メディカルヘルスケア事業)

メディカルヘルスケア事業につきましては、血圧計腕帯において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウンや半導体不足の影響を受けたものの、現在では受注が回復してきており、売上高・セグメント利益共に前年同期比を上回りました。

以上の結果、連結子会社への売上高を除いた外部売上高は3,416,902千円（前年同期比12.8%増）、セグメント利益は752,075千円（前年同期比17.2%増）となりました。

#### (セイフティシステム事業)

セイフティシステム事業につきましては、カーシートで一部自動車メーカーにおける工場稼働停止の影響を受けたものの、インド向けに大型レーザー裁断機やエアバッグ関連メーカー向けの自動機を納入したほか、エアバッグの生産において新規得意先向けの量産が開始され、売上高が堅調に推移しました。

以上の結果、連結子会社への売上高を除いた外部売上高は1,448,134千円（前年同期比72.1%増）、セグメント損失は124,151千円（前年同期はセグメント損失237,539千円）となりました。

#### (その他事業)

その他事業につきましては、家具・インテリア関連の縫製自動機の納入があり、連結子会社への売上高を除いた外部売上高は16,826千円（前年同期比59.5%減）、セグメント損失は1,380千円（前年同期はセグメント利益438千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,439,584千円増加し、6,980,103千円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が171,487千円、仕掛品が92,210千円それぞれ減少したことに対して、現金及び預金が1,053,446千円、商品及び製品が349,236千円、原材料及び貯蔵品が94,156千円、その他流動資産が206,443千円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1,292,817千円増加し、2,641,483千円となりました。これは主として使用権資産が74,594千円減少したことなどに対して、建設仮勘定が1,216,222千円、その他有形固定資産が161,508千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて2,732,401千円増加し、9,621,586千円となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,711,329千円増加し、4,900,266千円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が33,104千円減少したことなどに対して、短期借入金が1,270,000千円、未払金が411,724千円、未払法人税等が64,569千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて167,332千円増加し、629,872千円となりました。これは主として長期借入金が15,902千円減少したことなどに対して、その他固定負債が177,555千円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,878,662千円増加し、5,530,139千円となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は4,091,447千円と、前連結会計年度末に比べて853,739千円増加となりました。これは利益剰余金の配当により26,376千円減少したものの、譲渡制限付株式報酬による新株発行及び新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,708千円増加、為替換算調整勘定が521,592千円増加、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益を355,106千円計上したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末の47.0%から42.5%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2023年1月16日付で「2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、当第3四半期連結会計期間末現在、業績は概ね予定どおりに進捗しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,492,481	2,545,928
受取手形、売掛金及び契約資産	1,367,979	1,196,492
商品及び製品	760,416	1,109,652
仕掛品	616,249	524,038
原材料及び貯蔵品	1,167,433	1,261,590
その他	135,957	342,401
流動資産合計	5,540,518	6,980,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	190,137	176,332
機械装置及び運搬具（純額）	65,331	75,389
土地	115,622	118,087
使用権資産（純額）	293,255	218,660
建設仮勘定	404,627	1,620,849
その他（純額）	117,087	278,595
有形固定資産合計	1,186,062	2,487,915
無形固定資産	4,840	4,184
投資その他の資産		
繰延税金資産	57,814	69,606
その他	99,948	79,776
投資その他の資産合計	157,763	149,383
固定資産合計	1,348,665	2,641,483
資産合計	6,889,184	9,621,586

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	663,266	630,162
短期借入金	1,300,000	2,570,000
1年内返済予定の長期借入金	37,032	25,410
未払金	784,310	1,196,035
未払法人税等	58,020	122,589
賞与引当金	32,817	60,410
受注損失引当金	11,530	308
その他	301,958	295,350
流動負債合計	3,188,936	4,900,266
固定負債		
長期借入金	48,572	32,670
退職給付に係る負債	108,228	114,413
繰延税金負債	44,719	44,214
その他	261,019	438,574
固定負債合計	462,539	629,872
負債合計	3,651,476	5,530,139
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	305,619	307,327
資本剰余金	197,971	199,679
利益剰余金	2,668,845	2,997,576
自己株式	△479	△479
株主資本合計	3,171,957	3,504,104
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	65,750	587,342
その他の包括利益累計額合計	65,750	587,342
純資産合計	3,237,707	4,091,447
負債純資産合計	6,889,184	9,621,586

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	3,911,403	4,881,862
売上原価	3,065,881	3,819,650
売上総利益	845,522	1,062,212
販売費及び一般管理費	641,328	623,661
営業利益	204,194	438,551
営業外収益		
受取利息	390	6,844
受取配当金	0	0
為替差益	38,080	83,908
その他	17,794	10,417
営業外収益合計	56,266	101,170
営業外費用		
支払利息	31,782	33,191
その他	432	1,787
営業外費用合計	32,215	34,978
経常利益	228,245	504,743
特別損失		
新型コロナウイルス感染症対応による損失	85,521	—
減損損失	31,269	—
固定資産除却損	—	3,861
特別損失合計	116,790	3,861
税金等調整前四半期純利益	111,455	500,881
法人税、住民税及び事業税	57,559	154,761
法人税等調整額	△17,432	△8,986
法人税等合計	40,126	145,774
四半期純利益	71,328	355,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	71,328	355,106



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	71,328	355,106
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	208,964	521,592
その他の包括利益合計	208,964	521,592
四半期包括利益	280,293	876,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,293	876,699

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年6月29日 定時株主総会	普通株式	51,968	20.00	2021年3月31日	2021年6月30日	利益剰余金

(注) 1. 2021年6月29日定時株主総会による1株当たり配当額には、特別配当10.00円が含まれております。

2. 2021年10月1日を効力発生日として普通株式1株当たり2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月29日 定時株主総会	普通株式	26,376	5.00	2022年3月31日	2022年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについては、前連結会計年度の有価証券報告書(2022年6月30日提出)の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症による影響は、いまだ不確実な要素もあるため、状況に変化が生じた場合には、当社グループの財政状態、経営成績等に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,028,372	841,509	41,522	3,911,403	—	3,911,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,028,372	841,509	41,522	3,911,403	—	3,911,403
セグメント利益又は損失(△)	641,917	△237,539	438	404,816	△200,621	204,194

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△200,621千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セイフティシステムセグメントにおいて、営業活動から生ずる損益が継続してマイナスとなる見込みとなった資産グループについて、当第3四半期連結会計期間において帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額31,269千円を減損損失として計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,416,902	1,448,134	16,826	4,881,862	—	4,881,862
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,416,902	1,448,134	16,826	4,881,862	—	4,881,862
セグメント利益又は損失(△)	752,075	△124,151	△1,380	626,543	△187,992	438,551

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△187,992千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来「縫製自動機事業」「縫製品事業」の2区分を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「メディカルヘルスケア」「セイフティシステム」並びに「その他」の3区分に報告セグメントを変更することとしました。

これは当社グループでは、「Safety & Healthcare を通して科学技術の向上を図り人類に貢献する。」を企業理念としていることから、企業理念に即した経営管理を行うことを目的として変更したものであります。

「メディカルヘルスケア」では主に、血圧計腕帯やメディカルヘルスケア関連向けの裁断機及び縫製自動機の開発・製造・販売を、「セイフティシステム」では主にカーシートやエアバッグなどの自動車安全部品の製造・販売や自動車部品業界向けの裁断機や縫製自動機の開発・製造・販売を、また「その他」ではその他(食品、家具など)業界向けの裁断機及び縫製自動機の開発・製造・販売を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。